

血液がん

～より良い治療とより良い治癒～



参加費 無料

日時 2013年11月4日(祝) 13時～17時

会場 郡山市労働福祉会館(詳細地図裏面)

協賛 雪うさぎ10西の会(福島県立医科大学附属病院)、NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病基金研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍(真性多血症、本態性血小板血症、原発性骨髄線維症)など、病気本体や治療法が複雑でわかりにくくまた治療期間が長いのが血液がんですが、ぜひ基本から学んで理解を深めましょう。また「同じ血液がんでも自分とは病名のちがう疾病」と「自分では受けたくないかも知れない治療法」についてもこの機会に聴いてください。ほかの病名やいろいろな治療法の概略を理解することも、自身の病気を深く知る上で、さらにより良い治療選択をする上でとてもよい参考になります。

第2部ではそれぞれの疾患のグループにわかれ、専門医を交えてご自身の病気治療の進歩を共有し、同じ疾患の方々と交流します。さらに、寄せられた質問へのアドバイスを皆で共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。第3部では、身近に接する機会が多いう看護師さんからのお話を伺い、より良い治療とより良い闘病生活を目指しましょう。

講演を聴いて質問が湧けば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出し、疑問「解決の1日」としてください。

座長 福島県立医科大学 小川 一英 先生

総合司会 NPO 法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

I 全体会の(1) 血液がんについて基礎知識をもとう

血液と血液がんの病態

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか等、造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことを知ることで自身の疾患の理解を深めます。また、標準治療の「標準」やとても気になる言葉「治験に参加」、「エビデンスに基づいた医療」などの意味ついて聴きます。

太田総合病院附属太田西ノ内病院 神林 裕行 先生

血液がんの治療

血液がんの治療には化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法、放射線治療、免疫療法、そして支持療法などがあります。主にここでは化学療法、移植、分子標的療法について焦点をあて、それぞれの治療の特徴と使い分け、最新の臨床データ、移植が必要な場合のタイミングなどについて学びます。

福島県立医科大学会津医療センター 大田 雅嗣 先生

II 疾患別Q&A分科会 —各分科会同時進行—

各疾患の特徴と治療法の特性・進歩についてご講演いただき、個々の疾患について質疑応答を行ないます。分科会参加者全員と講師とが一体となってさまざまな疑問について会話し考えましょう。進行役は各疾患グループの方です。

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------|---------|--------------------|
| ○急性白血病 | 神林 裕行 先生 | ○悪性リンパ腫 | 北福島医療センター 甲斐 龍幸 先生 |
| ○慢性骨髄性白血病 | いわき市立総合磐城共立病院 濱崎 洋一 先生 | ○多発性骨髄腫 | 福島県立医科大学 坂井 晃 先生 |
| ○骨髄異形成症候群 | 福島県立医科大学 野地 秀義 先生 | | |
| ○骨髄増殖性腫瘍(真性多血症、本態性血小板血症、原発性骨髄線維症) | | | 福島県立医科大学 池田 和彦 先生 |

III 全体会の(2) より良く暮らしながら闘病するために

暮らしと血液がん治療

・血液科のナースから

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの合併症をより少なくして、快適な闘病生活を送るためのさまざまな留意点、看護からの支援の受け方について聴きます。

福島県立医科大学附属病院 10階西病棟看護師 樋口 和枝 さん

・化学療法室のナースから 外来化学療法の実際と看護

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅の問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

太田西ノ内病院外来化学療法室看護師 古川 美智子 さん

・移植が必要になったとき

骨髄移植やさい帯血移植が必要になったとき、病院にはクリニカル移植コーディネーター(CTC)という人たちがいます。CTCからの協力のもらい方などを聴きます。

福島県立医科大学 クリニカル移植コーディネーター 看護師 安斎 紀 さん

・共に考えるより良い治療とより良い治癒 —講師全員による会場全体とのQ&A

各分科会からその日の代表的な質問を提示してご参集の講師陣からご意見・アドバイスをいただき、参加者全体で共有します。

賛助
企業

セルジーン株式会社、 Bristol-Myers Squibb 株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、中外製薬株式会社、日本新薬株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、株式会社ヤクルト本社、富士フィルムRI ファーマ株式会社、富士製薬工業株式会社

事前に血液がんの治療についてのご相談を受け付けます。詳細は裏面に

主催(総合連絡先) NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503(月～金 12時～17時)

後援: 郡山市 / 公益財団法人 日本骨髄バンク

会場案内図／郡山市労働福祉会館

住所：〒963-8014 福島県郡山市虎丸町7-7 TEL 024-932-5279



事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4以下の紙1枚に、下記の①～⑤を書いて送って下さい。(締め切りは10月30日必着)

FAX送付の場合 03-3203-2570

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533
 早稲田大学前郵便局々留
 NPO 法人血液情報広場・つばさ

①病名

②患者さんの性別と年齢

③ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。用紙は1枚のみ。

病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。

④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)

ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

⑤参加会場名(例、福島フォーラム)

※寄せられた質問(ご相談事)は、全体会・講演、疾患別分科会Q&A、などで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。案外たくさんの人が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのが再寛解導入の可能性はあるか、等々。また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時...、なんでもこの際、どうぞ。

※今回は骨髄増殖性腫瘍の分科会はありませんが、患者・家族の会のご協力とご参加があります。是非、関係疾患の方おいでください。

広報、分科会司会等のご協力団体 (いつも本当にありがとうございます)

・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット (JCRSU)	http://www.crsu.org/
・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会	http://www.flrf.gr.jp/
・ JCRSU・がん電話情報センター	http://www.crsu.org/jcrsu/sevices/cc.html
・ 慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族連絡会「いずみの会」	http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/
・ 日本骨髄腫患者の会	http://www.myeloma.gr.jp/
・ 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会	http://www.geocities.jp/mdsrenraku/
・ NPO 法人ライフボート	http://www.lifeboat-jp.net/
・ 院内患者会世話人連絡協議会 (HosPAC)	http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm
・ NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ	http://www.millefeuille.or.jp/
・ 骨髄増殖性腫瘍患者・家族会 MPN-JAPAN	http://www.mpdnetjapan.org/